全国各地の「スポーツ」と「観光」の融合・連携による主な取組事例

北海道・東北ブロック

○若者が参加した「岩手発・超人スポーツ」の取組【岩手県】
→「人間拡張工学」に基づき、人間の能力をテクノロジーを用いて拡張し競技することで、年齢や身体能力、障がいの有無等にかかわらず、誰もが楽しむことができる可能性を秘めた新たなスポーツ。
いわて若者文化祭や国体とも連携して発信。
（バブルジャンパー・キャリオットなど）

岩手県 Iwate Prefecture × 超人スポーツ協会 Superhuman Sports Society

東海・北陸ブロック

○富山湾岸サイクリング環境の充実【富山県】
→世界で最も美しい湾クラブへの加盟を契機として、湾岸及び田園サイクリングコースの整備、サイクリングイベントの開催　など

○あいちスポーツコミッション【愛知県】
→世界規模のスポーツ大会の招致と地域の魅力発信

関東ブロック

○県境の稜線100kmを活用したロングトレイル【群馬県】
○県内全市町を舞台にした国際公認自転車レース「ツール・ド・とちぎ」の開催【栃木県】
○水郷筑波サイクリング環境整備【茨城県】
→筑波山・霞ヶ浦などを核とした日本一のサイクリング環境の整備
○ちばアクアラインマラソン【千葉県】
→あらゆる人がする・みる・ささえる大会運営とともに、千葉の魅力を発信
○KANAGAWA事前キャンプガイドの作成、県観光魅力創造協議会の設置【神奈川県】
→東京オリパラ等に向けた取組として
○スノーリゾート信州プロモーション、スポーツによる元気な信州包括連営協定【長野県】
→官民一体となったスポーツ＋観光の取組

近畿ブロック

○世界遺産の社寺等をめぐる奈良マラソン【奈良県】
→社寺や平城宮跡の朱雀門などがコース
○歴史上初の天覧相撲の地を生かした取組【奈良県】
→相撲発祥の地奈良体験ツアー、相撲部屋との交流イベント　など
○神戸マラソン・シリーズイベント【兵庫県】
→10月～11月20日（マラソン当日）にかけて、開催機運の醸成に寄与するシリーズイベントを公募・認定。
○KANSAI国際観光YEAR【関西広域連合】
→「KANSAI」ブランドを官民連携で発信し、訪問外国人客の増加を図る。2016年は、「関西のスポーツ観光」がテーマ。

全国各地の「スポーツ」と「観光」の融合・連携による主な取組事例

中国ブロック

○せとうち観光推進機構の取組＜再掲＞
【兵庫/岡山/広島/山口/徳島/香川/愛媛】
→瀬戸内ブランドの牽引役として一貫したプロモーション展開、アート・食などの魅力を生かしたプロダクト開発、周遊ルート「せとうち・海の道」の形成　など

○「サイクル県やまぐち」の推進【山口県】
→サイクル県やまぐちプロジェクト～やまぐち自転車旅～を開始。県庁構内で行うスピードレース等のシンボルイベントを開催するほか、サイクルエイド・ステーションの整備等による交流人口の拡大。

四国ブロック

○ドイツのホストタウンを生かした交流【徳島県】
→キャンプ誘致のほか、阿波踊り・阿波藍などを生かした交流

○サイクリング・パラダイスえひめ【愛媛県】
→しまなみ海道をサイクリストの聖地としてPR。サイクルオアシスの整備、二次交通支援などサイクリストの受入体制の整備

○豊かな自然を生かしたスポーツツーリズム【高知県】
→四万十川沿い等の自然を生かしたトライアスロンやランなど

九州・沖縄ブロック

○スポーツツーリズムの推進【大分県】
→玖珠九重地域の冷涼な気候や温泉等の地域資源を生かしたスポーツツーリズムの推進、合宿誘致　など

○スポーツツーリズムの推進【沖縄県】
→観光の閑散期においても実施可能なスポーツイベントにかかるモデル事業への支援　など

○スポーツランドみやざきの推進【宮崎県】
→温暖な気候や恵まれた食文化等を生かし、アスリートファーストの視点から、医療や栄養面も考慮したプロスポーツ等のキャンプ・合宿を誘致し、観光誘客につなげるスポーツランドみやざきづくり

各国のキャンプ・事前合宿の誘致

地元での交流事業

マリンスポーツのPR

hinata MIYAZAKI

全国各地の「文化」と「観光」の融合・連携による主な取組事例

北海道・東北ブロック

○ポップカルチャーを活用した海外情報発信【青森県】
→知名度の高い人物を活用した拡散されやすい短編動画の作成・発信　など

○「いわてまんがプロジェクト」【岩手県】
→“コミックいわて”シリーズの発刊、マンガ大賞コンテスト　マンガ・アニメの舞台への聖地巡礼　など

○いわて若者文化祭【岩手県】
→文化芸術分野を中心に若者の活躍・交流を支援するイベントの開催　など

○「未来に伝える山形の宝」登録制度【山形県】
→共通テーマで結びついた複数の文化財の保存と地域における活用が一体となった取組を登録・発信　など

関東ブロック

○上毛かるたを活用した地域・観光振興【群馬県】
→群馬県の特徴が読み込まれたかるたの活用
○地域版DMO「富岡製糸場を核としたまちづくり」【群馬県】
○「とちぎの百様」を活用した地域振興【栃木県】
○KENPOKU　ART2016茨城県芸術祭【茨城県】
→県北6地域におけるアートを活用した国際的芸術祭
○ご当地アニメを活かした観光振興【埼玉県】
→「アニメだ！埼玉～埼玉まるごとアニ玉祭～」の開催、アニメ検定の実施、聖地横断鉄道スタンプラリー　など
○マグカル（マグネットカルチャー）事業【神奈川県】
→神奈川の文化・芸術の魅力で、マグネットのように人々を引き付け、街に魅力と賑わいをもたらす
○美術館・博物館数全国一を活かしたまちづくり【長野県】
→豊富な芸術文化施設と、文化財・伝統芸能等の連携による観光振興　など

東海・北陸ブロック

○TOGA国際芸術村を活用した地域活性化【富山県】
→演劇の聖地である利賀芸術公園を核に、舞台芸術の創造・発信、人材育成　など（構造改革特区認定）
○いしかわが誇る文化の磨き上げと発信【石川県】
→兼六園周辺文化の森活性化、加賀百万石の伝統芸能継承・発展、新たな音楽文化振興（OEK等）　など
○日本遺産「灯り舞う半島　能登～熱狂のキリコ祭り」【石川県】
→キリコ祭りの維持・継承と観光誘客による地域活性化
○あいち山車祭り日本一協議会【愛知県】
○忍者や海女の文化を活かした観光振興【三重県】

近畿ブロック

○地域の元気創造・暮らしアート事業【滋賀県】
→BIWAKOビエンナーレ（国際芸術祭）、風と土の工藝など、文化・資源・歴史等を活かした「美の滋賀」づくり
○奈良県芸術家村の整備【奈良県】
→奈良の強みである歴史文化資源の最大限の活用を目指し、保存・修復のみならず、観光・産業等幅広い分野との連携による発信・交流拠点として整備
○せとうち観光推進機構の取組【兵庫/岡山/広島/山口/徳島/香川/愛媛】
→瀬戸内ブランドの牽引役として一貫したプロモーション展開、アート・食などの魅力を生かしたプロダクト開発　など

全国各地の「文化」と「観光」の融合・連携による主な取組事例

中国ブロック

○瀬戸内国際芸術祭との連携・廻遊【岡山県】
→県内外の現代アート作家の招聘による制作展示を実施

○古代歴史文化を活用した情報発信等【島根県】
→記紀ゆかりの他県と取組む“古代歴史文化賞”を通じた情報発信、首都圏等での講座開催　など

○せとうち観光推進機構の取組
【兵庫/岡山/広島/山口/徳島/香川/愛媛】
→瀬戸内ブランドの牽引役として一貫したプロモーション展開、アート・食などの魅力を生かしたプロダクト開発、周遊ルート「せとうち・海の道」の形成　など

○歴史・文化資源、文化財等を生かした観光振興【山口県】
→美術館活性化、維新史や文学者の情報収集・発信、世界文化遺産「萩城下町」、萩焼　など

四国ブロック

○「阿波踊り」文化を活用した様々な取組【徳島県】
→阿波踊りの通年化に向けて様々なイベントへの取り入れ、国内外への派遣や自然・食・LED・アニメとあわせて発信

○「マチを遊び尽くす」をコンセプトとしたアニメイベント
【徳島県】
→アニメを介して自然・景観・人情などを感じ観光してもらう取組

○現代アートによる地域活性化「瀬戸内国際芸術祭」の取組
【香川県】

○「志国高知　幕末維新博」に向けた取組【高知県】
→大政奉還150年、明治維新150年の節目を生かした博覧会の開催による歴史資源と食や自然などの一体的発信による観光振興

九州・沖縄ブロック

○アートによる地域情報発信・観光誘客【大分県】
→別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」や国東半島芸術祭、大分県立美術館の新規開業とディスティネーションキャンペーンとの連携　など

○伝統芸能等の多様な沖縄文化の発信【沖縄県】
→沖縄の特色ある伝統芸能に代表される多様で豊かな文化資源を活用した新たな観光コンテンツの創設と観光誘客

九州・沖縄から 文化力 POWER OF CULTURE

［その他］

スポーツ・文化・観光を一体的に推進するための体制整備

○秋田県：観光文化スポーツ部
（観光戦略課・同あきたビジョン室・観光振興課・秋田うまいもの販売課・交通政策課・文化振興課・スポーツ振興課）

○山口県：観光スポーツ文化部
（観光政策課・観光プロジェクト推進室・交通政策課・国際課・スポーツ推進課・文化振興課・県史編さん室）

○沖縄県：文化観光スポーツ部
（観光政策課・ 観光振興課・文化振興課・スポーツ振興課・観光整備課・交流推進課・空手振興課）